

siecle S608C3

ALL WINKER POSITION CONTROL SYSTEM

この度は弊社製品<シエクル608C3>をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品はフロント及びリアミラーウインカーランプをウインカーポジション化することが出来る画期的なシステムです。

本製品を安全にご使用して頂く為に、装着ならびご使用の前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなって下さい。

車検に関しては、車検場の検査官の解釈にて異なります。車検時はノーマル状態にて検査を受けることを推奨致します。

お願い! 本製品は性能向上などの理由により取り付け説明書の変更をおこなっております。お手元の取り付け説明書のVol番号が最新でない場合はお手数ですが当社ホームページを閲覧のうえ、最新版の取り付け説明書を参考に取付作業、調整をおこなって下さい。

注意! 使用・調整はお客様の自己判断、責任においておこなって下さい。この製品及び付属品の誤った使用や改造をおこなった場合、その使用中に生じた故障その他の不具合によって受けられた障害については、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

△危険 この表示を無視して誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が死亡または重傷を負う可能性が想定される差し迫った危険な状況を示します

- 本製品および付属品は確実に固定し、運転の妨げになる場所・不安定な場所に取り付けけないでください。運転に支障をきたし事故の原因となります。
- 本製品の装着により車両に異常が出たままの状態で行くと、予期せぬトラブルを誘発するばかりでなく、事故を招く可能性があります。性能が損なわれている場合は専門業者にて点検、整備を行ってください。
- 本製品の加工・分解・改造などは一切行わないでください。事故、火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となります。加工・分解・改造等の形跡が見られた場合、クレーン・修理の対象外とさせていただきます。

△警告 この表示を無視して誤った取り扱い・作業を行うと本人または第三者が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される潜在的に危険な状況を示します

- 本製品は車両電源がDC12V車用です。12V/24V兼用車または、24V車には使用しないで下さい火災の原因となります。
- 本製品の取り付け時は使用しない配線などは絶縁テープを巻くなどして必ず絶縁対策を行って下さい。ショートなどにより火災、電装品、エンジンの破損の原因となります。
- カプラーを外す場合には無理にハーネスは引っ張らず、必ずカプラーを持って取り外してください。ハーネスが破損すると、ショートなどにより火災、電装品の破損、焼損の原因となります。また製品の故障の原因となります。

△注意 この表示を無視して誤った取り扱い・作業を行うと、物質損害を負う可能性が想定される潜在的に危険な状況を示します

- 取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損、紛失しないように大切に保管してください。弊社では、取り付け作業による物的損害の責任を負うことが出来ませんので慎重に作業を行ってください。
- 本製品は精密部品ですのでハーネスの取り回しで強力な信号、ノイズの発生しやすい箇所は避けてください。誤作動する恐れがあります。
- 本製品に付属するハーネスは耐熱部品ではありませんので高温部を通す場合は必ず熱対策をおこなってください。

【取り付け作業に関する注意点】

- S608-C3シリーズは、タイプにより接続方法が異なります。製品番号を確認のうえ取り付け作業をおこなって下さい。
(A) S608C3-R01/R02 → 完全カプラーオン接続タイプです(接続方法1 参照)

(B) S608C3-R03 → ポジション電源のみ配線するタイプです。ウインカー部分はカプラーオンになります(接続方法2 参照)

(C) S608C3-R00 → 配線接続するタイプです(接続方法3 参照)

- 完全カプラーオン接続タイプ以外は、一部配線加工をしますので圧着ベンチ、絶縁テープ、ポジション線(イルミ線)を調べる為に電圧計テスター等が必要です。
- 作業はキースイッチ、ポジション電源OFFの状態でおこなって下さい。
- ハーネス類は運転の妨げにならぬように固定して下さい。

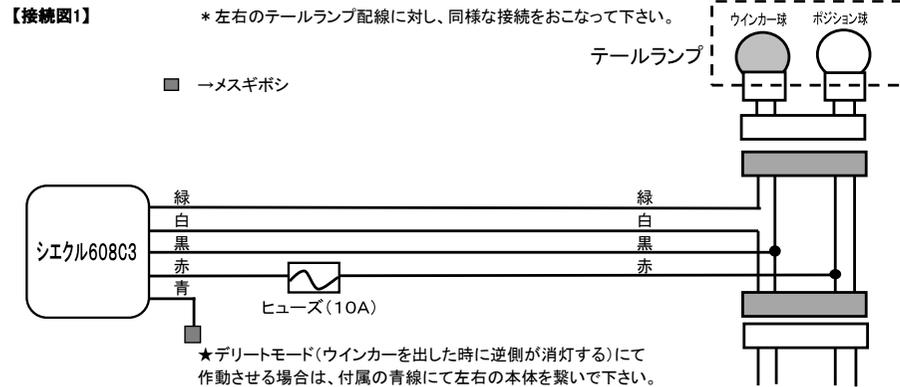
(A) 接続方法1 S608C3-R01・R02の接続方法

- ウインカー、ポジションが入っているテールランプを車両より脱着して下さい。
●ほとんどの車両は8~12mmボルトを2~3本は必ずすることにより脱着出来ます。

(2) テールランプより出ている配線のカプラーを抜き、S608C3のカプラーを確実に割り込み接続して下さい(接続図1参照)

(3) デリットモード(ウインカーを出した時に逆側が消灯する)にて使用する場合は、付属の青線にて左右の本体の青線を接続して下さい。

(4) 配線はタイラップを使って運転の妨げにならぬようにまとめて下さい。



(B) 接続方法2 S608C3-R# #の接続方法

- ウインカー、ポジションが入っているテールランプを車両より脱着して下さい。
●ほとんどの車両は8~12mmボルトを2~3本は必ずすることにより脱着出来ます。

- ウインカー球をソケットごと抜いて下さい。
①車両ソケットよりウインカー球を抜き、S608C3のソケットへウインカー球を移植して下さい。
●ウインカー球の差し込みの方向性はありません。

- 注意!** ●スバルWRX S4車はS608C3のソケットのOリングを抜いて使用して下さい。
②ウインカー球を差し込んだ状態でS608C3のソケットをテールランプユニットへ確実に差し込んで下さい。

(3) 車両のソケット(ウインカー球を抜いた状態のもの)とS608C3のオスソケットを接続して下さい(注意! 下記必ず確認)

- 注意!** ●接続方向があります。接続方向を間違えた場合、S608C3の破損及び車両ウインカー系の破損の危険があります。
作業は慎重におこなって下さい(車両別の接続方法を下記図面に明記してあります)

(4) ポジション電源線を確認して下さい。

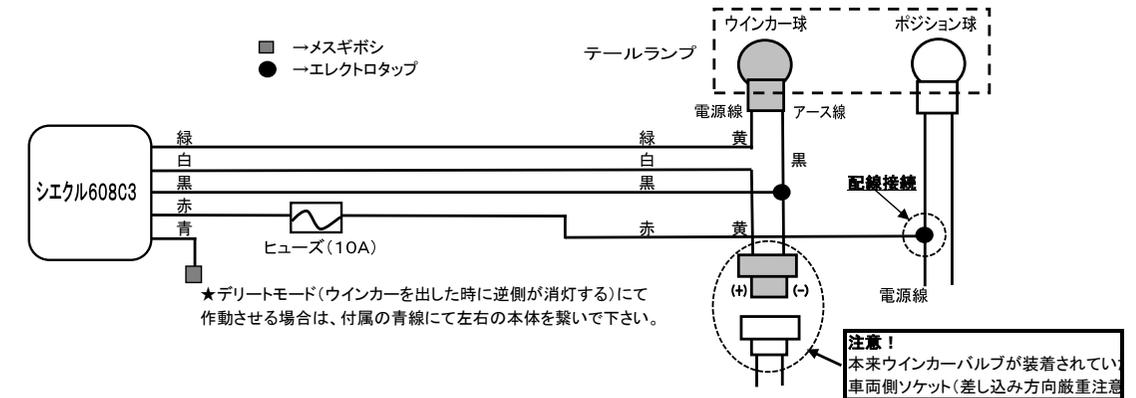
- ポジション状態にした時に12V発生する配線です。

①S608C3の赤線をポジション電源線へ付属のエレクトロタップにて圧着接続して下さい(接続図2参照)

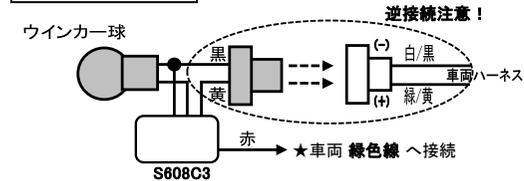
(5) デリットモード(ウインカーを出した時に逆側が消灯する)にて使用する場合は、付属の青線にて左右の本体の青線を接続して下さい。

(6) 配線はタイラップを使って運転の妨げにならぬようにまとめて下さい。

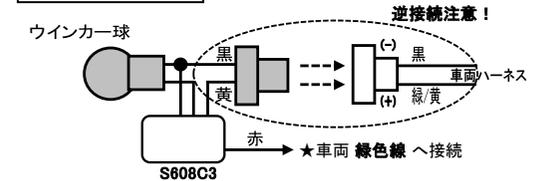
【接続図2】 *左右のテールランプ配線に対し、同様な接続をおこなって下さい。



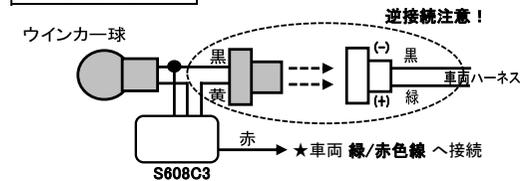
50プリウス



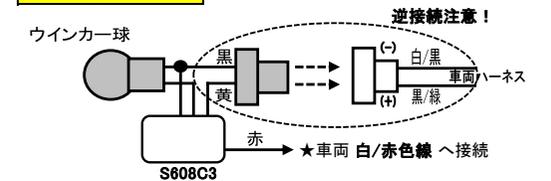
60ハリアー



レヴォーグ



WRX S4



【C】接続方法3 S608C3-R00の接続方法

(1)ウインカー、ポジションが入っているテールランプを車両より脱着して下さい。

- ほとんどの車両は8～12mmボルトを2～3本は必ずすることにより脱着出来ます。

(2)ウインカーの出力線とウインカーのアース線を確認して下さい。

- ウインカー出力線→ウインカーを点灯させた時に 12v-0v-12v-0v-・・・を繰り返す配線です。
- 残りもう1本のウインカー線です。ボディーアースと導通しています。

①ウインカーの出力線をカットしてテールランプ側の配線へオスギボシを圧着して下さい。車両側の配線へメスギボシを圧着して下さい。圧着が完了したらS608C3のハーネスの緑線をテールランプ側、白線を車両側へ確実に接続して下さい(接続図1参照)

②S608C3の黒線に接続してあるメスギボシをニッパ等にてカットして、ウインカーのアース線へ付属のエレクトロタップにて圧着接続して下さい(接続図3参照)

(3)ポジション電源線を確認して下さい。

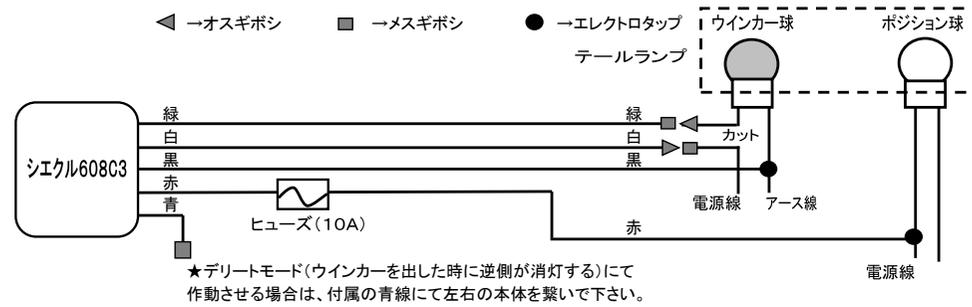
- ポジション状態にした時に12v発生する配線です。

①S608C3の赤線をポジション電源線へ付属のエレクトロタップにて圧着接続して下さい(接続図3参照)

(4)デリートモード(ウインカーを出した時に逆側が消灯する)にて使用する場合は、付属の青線にて左右の本体の青線を接続して下さい。

(5)配線はタイラップを使って運転の妨げにならぬようにまとめて下さい。

【接続図3】 *左右のテールランプ配線に対し、同様な接続をおこなって下さい。



【作動確認】

(1)配線作業が終了後、本体を固定する前に下記手順にて作動確認をおこなって下さい。

<ホールドモードの場合> *左右の本体を青線にて接続していない場合のモードです。

- ①ウインカーは正常に作動するか？
- ②車両をポジション状態にした場合、フロント&ドアミラーのウインカーが減光状態にて点灯するか？メーター内のウインカーのインジケーターも減光状態にて点灯するか？
- ③片側のウインカーを出した時、逆側のウインカーが減光状態にて点灯しているか？

<デリートモードの場合> *左右の本体を青線にて接続した場合のモードです。

- ①ウインカーは正常に作動するか？
- ②車両をポジション状態にした場合、フロント&ドアミラーのウインカーが減光状態にて点灯するか？メーター内のウインカーのインジケーターも減光状態にて点灯するか？
- ③片側のウインカーを出した時、逆側のウインカーが消灯するか？

【光量調整】

(1)配線作業が終了後、本体を固定する前に必ず下記要領にて光量調整をおこなって下さい。

- 減光状態の光度をボリュームにより調整出来ます。精密ドライバーにて調整をおこなって下さい。
- ボリュームを右に回すと明るくなり、左に回すと暗くなります。
- 左右の明るさが同じになるよう調整をおこなって下さい。

注意！ *昼間に光度のボリューム調整をすると明るすぎる調整になってしまいます。必ず調整は夜間におこなってください

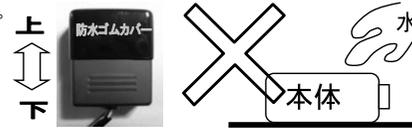


光度調整ボリューム

【本体の固定方法】

(1)作業終了後、本体に防水ゴムカバーを被せ、付属の両面テープにて確実に固定して下さい。

- 水の影響を受けにくい場所に固定して下さい。
- 設置場所は埃や水分、油分を脱脂してから固定してください
- 必ず調整面を上にして固定して下さい。平面もしくは水平に固定されると水の混入する可能性が高くなり本体破損につながります。



【弊社ハイフラキャンセラーとの併用について】

(1)弊社ハイフラキャンセラーとの併用は出来ます。

- 他メーカー製のハイフラキャンセラーとの組み合わせ装着はトラブルの原因になりますので、絶対におこなわないで下さい。

注意！ ●スバルレヴォーグ、S4車にハイフラキャンセラーを装着する場合は、テール球とS608C3の間にハイフラキャンセラーを接続して下さい。

【車検について】 *車検時はノーマル状態に戻すことを推奨致します。

●車検は検査する機関の解釈によりまちまちです。車検時にはノーマルに戻して検査を受けて下さい。

*カーディーラー等は独自の判断基準にて車検をおこなっているところが多くあります。その為、陸運局にてOKであっても検査がとらない時があります。

●フロントの車幅灯(ポジションランプ)は2色以上になると、保安基準に触れてしまいます。ウインカーポジションを車幅灯として設定する場合は・・・

*車両のフロント車幅灯をデイルイト化して『その他の灯火』とすれば、理論的には合法です。 弊社ポジションデイルイト(別売¥3,000～)

*車両のフロント車幅灯を作動させなくする。 *配線カット、ポジション球を抜く他

【トラブルシューティング】

●ウインカーを出したときにハイフラッシャーになる。(超高速点滅)

→各箇所のコネクターが刺さっていないか、接触不良がないか再度確認しなおしてください。

●ポジション点灯しない

→製品から出ている赤線の接触不良が考えられますので再点検してください。

